

第64回

葛 飾 区 統 計 書

令和2年刊行

2020



第64回

葛 飾 区 統 計 書

令和2年刊行  
2020

葛 飾 区

## ま え が き

ここに、第64回「葛飾区統計書（令和2年刊行）」を刊行いたします。

本書は、各種統計調査の結果報告を中心として、葛飾区の人口、産業、社会、福祉などの重要かつ基礎的な統計資料を収録し、葛飾区の現況や年代別の推移を明らかにしたものです。また、特集として、令和2年に公表された「平成30年住宅・土地統計調査」の結果をもとに葛飾区の住宅や設備等の状況を取り上げております。

本書には、統計法に基づき実施されている各種統計調査結果のほか、区の持つ行政情報や関係機関の情報も取りまとめて掲載しております。これらの資料からは、葛飾区全体の人口や事業所数の推移のほか、1日当たりの交通機関利用者数や、1世帯当たりのごみ収集量など、身近な生活の状況を知ることできます。

また、本年は、我が国最大の統計調査である国勢調査が実施されました。調査結果からは、本区の人口や雇用、就業の実態を把握することができます。葛飾区は、こうした情報を区民の皆様と共有するとともに、区全体の状況の変化をとらえる基礎資料として活用することで、区民、事業者の皆様方との協働のもと、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けて、事業を進めてまいります。

本書を、葛飾区の状況をお知らせする資料の一つとして、区民の皆様をはじめ、関係機関の方々に広くご活用いただければ幸いです。

結びに、本書の発行にあたり、各種統計調査にご協力いただきました区民の皆様や事業所の方々、自治町会の皆様、並びに貴重な統計資料を提供していただいた関係各位に改めて厚く御礼申し上げます。

令和2年12月

葛 飾 区 長

青 木 克 徳

## 凡 例

- 1 この統計書は葛飾区の人口、経済、社会および文化などの各分野に関する重要かつ基本的な統計資料を収録したものです。なお、統計表には他の区域と区別する必要のないかぎり葛飾区の名称を省いてあります。
  - 2 この統計書は令和元年度の統計を主として収録し、他の年または他の年度の統計は比較対照に資するために掲げてあります。
  - 3 統計書は特に頭注等にことわりのないかぎり、何年とあるのは暦年間（1月から12月）、何年度とあるのは会計年度間（4月から翌年3月）の事実を示し、何年末、何月末または何年何月何日現在とあるのはその期日現在の事実を示します。
  - 4 統計書の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にしました。また資料の出所は脚注の一部として各表ごとに掲げてあります。
  - 5 統計書の符号の用法は次のとおりです。
    - 「—」 ……皆無または該当数字なし
    - 「…」 ……不詳
    - 「0」 ……0.5未満
    - 「△」 ……減少を意味します。
    - 「 $x$ 」 ……事業所数が2以下のため秘密を保持するため公表を控えました。
    - 「±0」 ……変動なし
  - 6 数字の単位未満は、四捨五入することを原則としました。そのため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合があります。
- ※ この統計書を作成するにあたり使用した各種統計資料には、詳細データが掲載されています。
- ※ 国勢調査をはじめ、各種統計調査の結果については、確定値が出た後、順次統計書に掲載します。

# 総 目 次

I	とうけいひろば	1~16		
			II グラフ	III 統計表
			19~42	47~181
◇	人 口	19	47	
◇	土 地	-	60	
◇	住 宅	23	61	
◇	財 務・税 務	24	66	
◇	事 業 所	26	77	
◇	工 業	28	95	
◇	商 業	30	106	
◇	農 業	32	115	
◇	金 融	-	116	
◇	労 働	33	117	
◇	くらしむき	34	120	
◇	物 価	34	123	
◇	水 道	-	124	
◇	教 育	35	127	
◇	施 設	-	133	
◇	福 祉	36	150	
◇	国 民 年 金	36	158	
◇	国民健康保険	36	159	
◇	選 挙	37	162	
◇	情 報 公 開	-	164	
◇	議 会	38	164	
◇	公 務 員	-	166	
◇	警 察	38	168	
◇	消 防	39	171	
◇	交 通	40	172	
◇	通 信	-	174	
◇	衛 生	41	175	
◇	環 境	42	178	
◇	公 害	42	181	
◇	参 考 資 料	-	182	